

## 2023年度 愛知県社会人サッカーリーグ規程細則

- 入 替 規 程
- (1) 1部は、2部への降格を7・8・9位の3チームとする。
  - (2) 2部は、1・2位を1部に昇格し、7・8・9・10位は次年度、3部に降格する。
  - (3) 3部は、1・2位を2部に昇格し、7・8・9位は次年度、地区リーグに降格する。
  - (4) 1部の1、2位は、12月に開催される東海社会人サッカートーナメント大会の出場権を付与する。
  - (5) 東海社会人2部からの降格チームは、次年度に1部に編成する。
  - (6) 県1部から東海社会人リーグに昇格するチームが発生した場合、そのチーム数に合わせて降格対象の最上位から同部に残留できる。
  - (7) 解散などにより参加ができないチームが発生した場合、次年度の1・2部の編成数が7チーム以下になる時に限り、下部から8チームに調整するために繰り上げで残留が認められる。その結果、3部の編成が7チーム以下になった場合も、所属チームの総数が24を下回らない限り追加補充はされない。
- 会 場 の 諸 注 意
- (1) 開幕時に無観客試合となる会場を、豊田自動織機大府工場グラウンドとトヨタ自動車(株)日進研修センターグラウンドの2会場とする。同会場には、選手とチーム関係者のみ入所が許される。企業判断により無観客開催を解除する場合は、都度周知する。
  - (2) 以下の会場は集合写真を含むすべての写真撮影と動画撮影、それらのSNSへの掲載を禁止する。  
トヨタ自動車(株)日進研修センターグラウンド  
トヨタ車体(株)刈谷ふれ愛パークグラウンド
  - (3) 豊田自動織機大府工場グラウンドは、個人・チームの所有目的で動画・写真撮影を制限しないが、SNSへの掲載は試合前集合写真だけとし、他は一切掲載しないこと。
  - (4) それ以外の会場は、本部や会場確保チームに使用上の注意を確認し、指示に従う。
- 試合前提出書類
- (1) メンバー表4部・JFA選手登録証(顔写真付きで一覧でも可)・リーグ登録票・健康チェックシートを完備し、試合開始30分前までに本部に提出すること。クリアファイル等でまとめる。
  - (2) メンバー表提出時に選手証を提示できない場合、WEB画面での提示を可とする。
  - (3) チーム・選手登録に関する疑義があった場合は、実行委員長を主体に調査・介入する。違反や不正が認められた場合は当該チームの試合を没収し、結果を0-3として処理する。その後の処分は、JFA懲罰規則に則り、社会人リーグ規律委員会で裁定する。
- 猛 暑 時 の 判 断
- (1) 人工芝ピッチでは、WBGT計25℃以上でクーリングブレイクを採用し、同28℃以上で試合を行わない。
  - (2) それ以外では、WBGT計28℃以上でクーリングブレイクを採用し、同31℃以上で試合を行わない。
  - (3) 外気温37℃の場合、他の諸条件に関係なく試合を行わない。
- 落雷時などの判断
- (1) 落雷を目視する、ないしは雷鳴を確認した時点で、30分を目安に試合を中断する。
  - (2) 30分後、天候が回復して落雷のリスクがないと判断した場合、試合を再開する。
  - (3) グラウンド使用可能時間により、再開しても試合が終了できない場合は、その時点で中止する。
  - (4) 審判団・本部・両チームの責任者で協議し、危険だと判断した場合は即座に試合を中止する。主審の判断を最終決定とするが、本部・チーム責任者も積極的に判断に関わること。
  - (5) 安全を最優先に、中止の決定は現場の判断を尊重する。決定後に事務局・実行委員長に報告のこと。
- M C M  
(マッチコーデ  
ミーティング)  
※別途リスト参照
- (1) 参加者は主審・両チーム責任者(代理可)1名ずつ・本部 の4人とする。
  - (2) 試合開始60分前に、遅れがないように本部に集合して実施する。
  - (3) 進行役は本部が実施する。本部から参加できない場合は、ホームチームから進行役を1名増やして実施する。
  - (4) 実施においては、以下を順番に確認すること。
    1. 進行役・両チーム・主審の簡単な自己紹介(〇〇です、よろしくお願ひします)
    2. 試合規程確認(90分・延長なし・交代は10名の控えから5名まで可、ハーフタイム除く3回まで)
    3. 出場停止選手・スタッフの有無確認
    4. 会場使用の注意点を確認
    5. 現物でFP/GKユニフォームの色(控え選手のビブスの色)を確認
    6. 試合前アップ終了と、用具チェックの時間確認  
基本的に開始15分前アップ終了で、7分前チェックだが、10分・5分でも可
    7. 退場者発生時の、試合終了までの待機場所(主審が決定)
    8. その他、主審からの注意・お願ひ事項、ボールが会場から出た場合の処置、質問など
- 本 部 ( 運 営 )  
※別途リスト参照
- (1) 会場は試合開始90分前までに到着できることが望ましい。
  - (2) 会場到着後、会場準備やピッチメイクに不備がないかをチェックする。
  - (3) 主審・副審の到着確認を行う。副審の審判証をチェックする。
  - (4) MCMを試合開始60分前に実施する(参加できない場合はホームチームに実行してもらう)。
  - (5) 提出されたメンバー表・選手証・登録票の整合性を確認する。  
(時間までに提出しないチームに対しては、当該チームに請求する)
  - (6) 試合の得点者・アシスト者・警告者・退場者・WBGT値(前半開始60分前と10分前、後半開始5分前)主審名等を報告書に記載する。(警告・退場者は、主審に理由をたずねて内容を記入する)
  - (7) 第4の審判員の職務のうち、以下を代行する。
    1. 選手交代の数と回数、用具を確認し、主審に伝えて入場を許可する。その際、  
アディショナルタイムの表示、またはチームへの伝達を行う  
主審に終了3分前を目途に確認し、前後半それぞれ45分きっかりに知らせる)
    2. 予備ボールの管理(4球を預かって、最後にチームに返すまで)
  - (8) 悪天候、チーム・審判の未到着等による諸事情で試合開始と継続ができない場合は関係者(主審、両チーム責任者)と連携し開始、継続、再開の判断をする。安全を最優先に判断すること。
  - (9) 試合開始時間を遵守できるよう進行を促す。
  - (10) 試合結果・グラウンド使用点検状況等をチェックリストに記入して、事務局に報告する(FAX可)。
- 第4審判員不在について、チームへ協力をお願い
- (1) テクニカルエリアで指示できるのはその都度で1人とし、エリアから出ないこと。
  - (2) 怪我人が出た場合、当該チームのスタッフ・控え選手などが中心になり選手を運び出しを手伝うなど協力すること。選手の再入場にも立ち合い、主審に承認をもらえるよう呼びかける。
  - (3) 出場選手の止血確認は、主審がこれを行う。
  - (4) メンバー表に書かれた控え選手、チーム関係者はベンチにいること。攻撃的・侮辱的な言動は慎むこと。選手同様、懲戒の対象になる。
  - (5) その他、本部の指示に従うこと。